

令和3年11月15日

報道機関 各位

## 2021年度山陰研究交流会を開催します【12/1】

### ◆本件のポイント！

- ・山陰研究センターの研究活動から、毎月1テーマずつわかりやすく解説
- ・今月のテーマは“島根県在住の社会人の学び”
- ・18歳人口が減少していく中での大学の役割を考える

### ◆本件の概要

島根大学山陰研究センターは、「2021年度山陰研究交流会」を開催します。

本交流会は、山陰研究センターの研究成果を報告し、研究プロジェクト間の研究交流を推進すると同時に、わかりやすい内容で専門分野外の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

今回は、高等教育研究を研究領域とする原田健太郎講師が、島根県在住の社会人が行っている学びの実態について紹介します。リカレント教育が推進される中で、学校を卒業した後も継続した学びを行うことが期待されています。それを実現するためにも、現在の社会人の学びについての実態把握が重要です。交流会ではその実態についての検討を行います。

今回は2020年度に実施した、島根県在住者を対象とするアンケート調査の結果を用いて、社会人の学びの実態を紹介したうえで、学びに対する意識についても紹介します。

そして、上記の結果を踏まえて、18歳人口が減少していく中での大学の役割を一緒に考えます。

### ◆概要内容

#### 「2021年度山陰研究交流会」

【日 時】2021年12月1日(水) 16:00~17:30

【テ ー マ】島根県に在住する社会人の学びの実態

—何が学びを促し、大学が果たすべき役割は何か—

【発 表 者】原田 健太郎(島根大学 大学教育センター)

【開催方法】ZOOMによるオンライン(要事前申込み)

### ◆本件の連絡先

島根大学法文学部山陰研究センター

電 話:0852-32-9833

メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp ※[at]は@に置き換えてください

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2021101300019/>

【添付資料: あり(1枚) なし】

# 2021年度 山陰研究交流会



参加無料・オンライン

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それをもとに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をさせていただくことで、専門分野外の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

## ●日時

2021年10月27日(水)～2022年2月2日(水)16:00～17:30(全4回)

## 【問い合わせ先】

島根大学法文学部山陰研究センター  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060  
【電話】0852-32-9833

## ●参加方法

ホームページ掲載の申込み方法をお読みいただき、各開催日の前日までにお申込み下さい。

2021年  
**45** **10/27**  
共催：島根大学人間科学部

## 福祉総合相談拠点における個別支援と地域支援の統合方法

—松江市地域包括支援センターの事例より—

発表者：加川 充浩（島根大学人間科学部）

**46** **12/1**

## 島根県に在住する社会人の学びの実態

—何が学びを促し、大学が果たすべき役割は何か—

発表者：原田 健太郎（島根大学 大学教育センター）

2022年  
**47** **1/5**

## 災禍の記憶の語りと継承

—近世山陰の飢饉に関する実録類など—

発表者：田中 則雄（島根大学法文学部）

@山陰研究プロジェクト「山陰地域の文学・歴史関係資料の研究と活用に関するプロジェクト」

**48** **2/2**

## 自治体公文書の評価選別に関する現状と課題

発表者：清原 和之（島根大学法文学部）

@山陰研究共同プロジェクト「市民参加による自治体公文書の評価選別に関する理論的・実践的研究」(清原和之、小林准士、毎熊浩一)